

一般社団法人日本ドローンコンソーシアム  
令和4年度(2022年度)  
通常総会

日時：令和4年5月31日(火) 14:00~15:00

場所：学士会館

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3丁目28

(オンライン併用で開催)

通常総会議案：

- 第1号議案 令和3年度事業報告
- 第2号議案 令和3年度決算報告
- 第3号議案 令和4年度事業計画
- 第4号議案 令和4年度予算計画
- 第5号議案 令和4年度役員候補



一般社団法人日本ドローンコンソーシアム

## 第1号議案 令和3年度活動報告

## 1 会員数

	令和3年度末※1	令和2年度末
法人会員	217	223
公共会員	1	1
協力会員	46	45
招聘会員	7	8
団体会員	0	0
提携団体会員	4	3
合計	275	280

※1：2022/3/31 時点

## 2 役員と役員の担当

代表理事	野波 健蔵	一般財団法人先端ロボティクス財団	(国際連携委員会)
副代表理事	石田 敦則	三信建材工業株式会社	(産業促進委員会・表彰委員会・中部地域部会)
副代表理事	金井 利郎	金井度量衡株式会社	(スクール事業部・表彰委員会・新潟地域部会)
副代表理事	笠 博義	株式会社安藤・間	(総務委員会)
理事	伊東 明彦	宇宙技術開発株式会社	(事務局長・総務委員会)
理事	岩田 拓也	国立研究開発法人産業技術総合研究所	(制度設計委員会)
理事	酒井 直樹	国立研究開発法人防災科学技術総合研究所	(産業促進委員会・防災系部会)
理事	設楽 丘	有限会社タイプエス	(地域推進委員会)
理事	下村 博之	株式会社パスコ	(産業促進委員会・調査測量系部会)
理事	鈴木 智	国立大学法人千葉大学	(安全推進委員会)
理事	須田 信也	株式会社 WorldLink&Company	(事業企画委員会)
理事	田上 敏也	株式会社四門	(総務委員会)
理事	武田 圭史	慶応義塾大学	(制度設計委員会)
理事	戸澤 洋二	一般社団法人日本ドローン無線協会	(技能検定委員会)
理事	富井 隆春	株式会社 amuse oneself	(産業促進委員会)
理事	八角 浩史	行政書士八角浩史事務所	(技能検定委員会)
理事	三浦 浩	株式会社テックソリューションズエンジニアリング	(スクール事業部)
理事	三輪 昌史	国立大学法人徳島大学大学院	(制度設計委員会)
理事	山下 敏明	日本電気株式会社	(国際連携委員会)
理事	劉 浩	国立大学法人千葉大学	(国際連携委員会)
監事	木下 研作	株式会社サイバー創研	
監事	原田 康則	株式会社エネキア・コミュニケーションズ	

### 3 事業内容

#### 3.1 通常総会

日 時：2021年5月25日 14:00-15:00

会 場：千葉大学 知識集約型共同研究拠点 2-306 (オンライン開催)

概 要：令和2年度事業・決算報告、定款の変更、および令和3年度の事業計画・予算・役員が承認された。

#### 3.2 理事会

計6回開催し、総会で決議した事項の執行と総会の準備を実施した。

理事会名	実施日	場所	理事参加人数	主な議題
令和3年度 第1回目	2021年5月25日	JDC事務局 (オンライン)	20名	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表理事・副代表理事の選定</li> <li>会長の選任</li> <li>事務局長の委嘱</li> </ul>
令和3年度 第2回目	2021年7月6日	JDC事務局 (オンライン)	17名 委任状3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>総会議事録</li> <li>令和2年度第6回、令和3年度第1回理事会議事録</li> <li>入会審議</li> <li>表彰規定改訂</li> <li>JUAV工業会会費値上げの件</li> </ul>
令和3年度 第3回目	2021年9月30日	JDC事務局 (オンライン)	17名 委任状3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回理事会議事録</li> <li>入会審議</li> <li>国際ドローン展/JDC フォーラム</li> <li>表彰規定の改定</li> <li>受託業務の承認 2021年度「みちびきを利用した実証事業」</li> <li>登記上の事務所の変更</li> <li>ドローンによるリモートセンシング入門の監修機関</li> </ul>
令和3年度 第4回目	2021年12月24日	JDC事務局 (オンライン)	16名 委任状4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回理事会議事録</li> <li>入会審議</li> <li>機体認証に関する登録検査機関へのJDCの貢献について</li> <li>総務省移動通信課提示の改革案</li> <li>HP更新の方向性</li> <li>東京事務所の登記</li> </ul>
令和3年度 第5回目	2022年3月31日	JDC事務局 (オンライン)	15名 委任状5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回理事会議事録</li> <li>入会審議</li> <li>国際ドローン展の開催方法について</li> <li>JDC規定類の制定・改定における見直しへの着手</li> <li>日本ドローンコンソーシアム表彰の選定について</li> </ul>
令和3年度 第6回目	2022年5月12日	JDC事務局 (オンライン)	13名 委任状7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5回理事会議事録</li> <li>入会審議</li> <li>監査結果</li> <li>総会資料</li> </ul>

上記のとおり、令和3年度は表彰規定を改定し、第一回 JDC 表彰の実現に向けて活動を行った。また、示した活動方針案について、各委員会活動に反映できる内容については、令和3年度の計画に反映し、活動した。特に国が進める機体認証制度やライセンス制度に対して、様々な機会を通じて積極的に提言を行った。

### 3.3 委員会

#### (1) 総務委員会（委員長：株式会社安藤・間 笠博義）

- ・ 運営全般：総務委員会・事務局連絡会議を合計 12 回開催し、JDC の定常的な運営を理事会・事務局と連携して行った。
- ・ 規定類の整備：「JDC 表彰に関する規定」の改定を行い、表彰委員会の枠組みを作った。また、全規定類について、定款および関連規定との整合性の検討・修正作業を進めた。
- ・ 財務：会費の納入状況、収入・支出・収支差額について、定期的に把握し、令和3年度決算報告書の作成と令和4年度予算（案）の作成を行った。また、今後の財政基盤の安定化を目指すため、受託研究獲得の活動を行い、2 件の研究受託を行った。
- ・ 広報：国際ドローン展を共催すると同時に、JDC 組織の改編に合わせてパンフレットの改定を行い、News&Topics を発信した。新ホームページについて検討を行い、全体構成を整えた。

#### (2) 事業企画委員会（委員長：株式会社 WorldLink&Company 須田信也）

- ・ JDC フォーラムの企画運営を担当し、コロナ禍においてもスムーズな開催に努めた。

#### (3) 制度設計委員会（委員長：慶応義塾大学 武田圭史）

- ・ 航空法改正に伴う具体的な施策となる航空法施行規則（省令）の検討について業界団体の立場として、以下の WG 等に参加し意見表明等を実施した。
  - ① 機体の安全性確保 WG への参加 全 7 回（野波会長、武田委員長、鈴木（智）委員）
  - ② 操縦者・運航管理者の技能確保 WG への参加 全 10 回（野波会長、武田委員長、八角委員）
  - ③ 運航管理 WG への参加 全 10 回（武田委員長、八角委員）
  - ④ 3WG 合同会合への参加 全 1 回（野波会長、武田委員長、鈴木（智）委員、八角委員）
- ・ 無人航空機に関する ISO 国際標準化について国内調整を行う国内委員会に業界団体の立場として参加し情報収集および意見表明を実施した。また、オンラインにて各種標準化活動に関する情報収集を実施した。
  - ① 無人航空機国際標準化国内委員会への参加 全 4 回（武田委員長、鈴木（英男）委員）
- ・ JDC 制度設計委員会を開催し、上記の各 WG および委員会における検討状況の共有と JDC としての意見集約等を行なった。
- ・ JDC 制度設計委員会を全 5 回実施した。
- ・ 沖縄地域部会沖縄ドローン大会において政府の制度検討の状況等に関する講演を行なった。
  - ① JDC 沖縄ドローン大会において制度設計に関する講演（武田委員長）

#### (4) 技能検定委員会（委員長：行政書士八角浩史事務所 八角浩史）

- ・ スクール事業部と共同で、毎月定例会を実施した（12回）。
- ・ スクール事業部との連携により、指導者講習会を2回、認定スクール向け指導者検定会を1回実施した。

**(5) 安全推進委員会（委員長：国立大学法人千葉大学 鈴木 智）**

安全推進委員会単体での委員会開催には至らなかったが、以下の対応を実施した。

- ・ sUAV-STM 評価会への参加・情報収集の実施
- ・ JUAV 工業会定例会への参加
- ・ 制度設計委員会との連携、機体安全 WG への参加

**(6) 表彰委員会（委員長：金井度量衡株式会社 金井利郎）**

- ・ 表彰委員会の開催 3回実施（10月、11月、3月）
- ・ 表彰選考基準等の整備
- ・ JDC 表彰候補者ご推薦（自薦・他薦）のお願いの告知 11月
- ・ ヒアリング、審査 1月～3月
- ・ 選定した表彰対象者の理事会審議 3月

**(7) 国際連携委員会（委員長：国立大学法人千葉大学 劉浩）**

- ・ 海外のドローン関係機関の動向把握、JDC 表彰委員会の活動、大学での研究活動の推進を行った。特にドローン関連分野の研究推進のため、生物規範や AI のドローン研究開発への応用などに関する Webinar を多数企画し実施した。

**(8) 産業促進委員会（委員長：株式会社 amuse oneself 富井隆春）**

各部会の活動を支援した。

① 防災系部会（部会長：酒井直樹）

- ・ ぼうさいこくたい 2021（主催：防災推進国民大会 2021 実行委員会（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）、会場場所：岩手県釜石）において、「防災分野へのドローン利用の最前線」のセッションを企画した。
- ・ 国際ドローン展/JDC フォーラムにおいて、「防災セッション」を企画した。

② 農林水産系部会（部会長：井上吉雄）

- ・ 農水省スマート農業事業で構築した「リモートセンシング+可変散布」システムのデモフライトを守谷の農家圃場にて実施した。同技術の有望性を実地検証するとともに、精密化・高度化に向けた問題点を明らかにし、今後の研究開発に資する基盤データを得た。
- ・ 国際ドローン展/JDC フォーラムにおいて、「農業セッション」を開催した。東京大学および東光鉄工より「リモートセンシング+空中管理作業」の先進事例と今後の課題に関する話題提供があった。また、NTT による農業分野の新規ドローン事業に関する紹介、農水省よりドローン普及に向けた規制緩和等の行政施策に関する情報提供があった。今後の農林水産分野におけるドローンの活用と普及に向けてたいへん有益なセッションとなった。

- ③ 構造物点検ドローン研究会（部会長：三浦浩）
  - ・ 昨年に引き続き、構造物の点検に関わるドローンによる様々な方法を検討・検証した。
  - ・ 特に橋梁点検においては、ドローンを活用したスクールの立ち上げに注力し、第1回点検スクールを開催することができた。
  - ・ ダムや港湾などの点検実証実験も行うなどドローンを活用して点検できる対象物の拡大を図ってきた。
- ④ 物流系部会（部会長：野波健蔵）
  - ・ 国際ドローン展/JDC フォーラムにおいて、「都市部でのドローン物流の取組」と題するセッションを開催した。3件の講演に引き続き、パネルディスカッションを行った。白熱した議論となり、会場からの質疑も多く、充実したセッションとなった。
- ⑤ 調査・測量系部会（部会長：下村博之）
  - ・ コロナ禍が継続する中で、外部との連携イベントが実施できなかったが、日本測量協会測量・地理空間情報イノベーション大会 2021 において Web 上でのポスター展示を行った。また、国際ドローン展/JDC フォーラムにおいて講演を行った。

## (9) 地域推進委員会（委員長：有限会社タイプエス 設楽 丘）

各地域部会の活動を支援した。

- ① 北海道地域部会（部会長：国立大学法人北海道大学 田邊龍彦）
  - ・ コロナ禍の影響等により予定していた行事が実施できなかった。
- ② 宮城地域部会（部会長：事務局代行）
  - ・ コロナ禍の影響もあり、新任部会長の調整がつかず、活動を実施できなかった。
- ③ 福島地域部会（部会長：株式会社北斗測量 五十島文栄）
  - ・ 会津若松市総合防災訓練に参加予定であったが、コロナ禍の影響で参加人数制限のため、不参加となった。
- ④ 群馬地域部会（部会長：有限会社タイプエス 設楽 丘）
  - ・ 滞在型ドローン練習会（第5回 JOP）を開催（2021年9月1日～3日）。コロナ禍での開催であったため1日当たりの参加者制限を設けて実施した。
- ⑤ 茨城地域部会（部会長：株式会社スカイコーポソリューションズ 酒井学雄）
  - ・ 茨城ドローン管理米の栽培を行った。3年目で、収量が1割ほど改善した。
- ⑥ 首都圏地域部会（部会長：株式会社ファンメディア 樋渡貴春）
  - ・ 中部・首都圏地域部会合同開催講演会『3次元計測技術の最新情報と利活用について』（令和3年9月27日（月）13：30～16：00、Web開催）、基調講演：『静岡県が目指す VIRTUAL SHIZUOKA 構想とは？』他
- ⑦ 新潟地域部会（部会長：金井度量衡株式会社 金井利郎）
  - ・ 出前授業の実施（新潟万代高校 6月）
  - ・ 長岡防災ドローン実践研究会（設立協力 11月）

- ・ 新潟県測量設計業協会講習会への協力 (9月、11月)
- ⑧ 中部地域部会 (部会長: 三信建材工業株式会社 石田敦則)
  - ・ 総会の開催(令和4年4月;メール審議)
  - ・ 例会の開催(新型コロナウイルス感染予防の観点から一部 Web により開催)
  - ・ 7月例会:『ドローンによる地方創生活動の紹介』(令和3年7月21日(木) 13:30~15:00、Web)
  - ・ 9月例会:『3次元計測技術の最新情報と利活用について』(中部・首都圏地域部会合同例会;令和3年9月27日(月) 13:30~16:00、Web)
  - ・ 10月例会:『港湾施設の定期点検をテーマとした実証実験』(愛知県次世代産業室&東三河ドローン・リバー構想推進協議会の主催;和3年10月21日(木)13:00~15:30、於:豊川市御津文化会館文化ホール、豊川市御津町御幸浜地内防波堤)
  - ・ 3月例会:『社会インフラ点検におけるドローンの活用に向けて』(令和4年3月10日(木) 14:00~17:00、オフィスパーク名駅プレミアムホール&会議室)
- ⑨ 関西地域部会 (部会長: 事務局代行)
  - ・ 関西地域部会の体制を検討すると共に、「大阪万博(2025年)」におけるドローン利活用に関して、連携を検討した。
- ⑩ 中国・四国地域部会 (部会長: 国立大学法人徳島大学大学院 三輪昌史)
  - ・ コロナ禍の影響等により予定していた行事が実施できなかった。
- ⑪ 九州地域部会 (部会長: 南栄工業株式会社 石神憲一)
  - ・ コロナ禍の影響等により予定していた行事が実施できなかった。
- ⑫ 沖縄地域部会 (部会長: 株式会社システム・ビット 喜屋武義人)
  - ・ 2021年12月10日 第六回沖縄ドローン大会(於:沖縄産業支援センター、Web 併用)、参加者:75名(現地10名、Web 65名)
- (10) スクール事業部 (事業部長: 株式会社ディック ソリューション エンジニアリング 三浦浩)
  - ・ 技能検定委員会との連携により、指導者講習会2回、認定スクール向け指導者検定会1回、実施した。

## 第2号議案 令和3年度 決算報告

## 貸借対照表

令和4年3月31日現在(決算)

法人名：一般社団法人日本ドローンコンソーシアム

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資 産 の 部</b>			
<b>流 動 資 産</b>			
現 金 預 金	7,327,321	4,850,087	2,477,234
現 金	30,304	47,631	▲17,327
普 通 預 金	3,473,266	2,278,972	1,194,294
普 通 預 金	3,823,751	2,523,483	1,300,268
普 通 預 金		1	▲1
未 収 金	507,400	829,200	▲321,800
仮 払 金		33,000	▲33,000
流動資産合計	7,834,721	5,712,287	2,122,434
<b>固 定 資 産</b>			
そ の 他 固 定 資 産			
什 器 備 品	1	1	
そ の 他 固 定 資 産 合 計	1	1	0
固定資産合計	1	1	0
資産合計	7,834,722	5,712,288	2,122,434
<b>II 負 債 の 部</b>			
<b>流 動 負 債</b>			
未 払 金	1,265,639	1,102,568	163,071
預 り 金 等	4,330	8,146	▲3,816
未 払 消 費 税 等	346,200		346,200
未 払 法 人 税 等	207,800	183,500	24,300
流動負債合計	1,823,969	1,294,214	529,755
負債合計	1,823,969	1,294,214	529,755
<b>III 正 味 財 産 の 部</b>			
一 般 正 味 財 産	6,010,753	4,418,074	1,592,679
正 味 財 産 合 計	6,010,753	4,418,074	1,592,679
負債及び正味財産合計	7,834,722	5,712,288	2,122,434



## 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日(決算)まで

法人名：一般社団法人日本ドローンコンソーシアム

事業名：事業全体

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
受取会費	6,570,000	6,690,000	△120,000
正会員受取会費	6,570,000	6,690,000	△120,000
事業収益	8,707,940	23,672,794	△14,964,854
イベント収益		567,780	△567,780
受託収益	1,477,350	13,991,600	△12,514,250
技能検定収益	6,691,590	8,197,914	△1,506,324
開校関連収益		11,000	△11,000
その他(事業)収益	539,000	904,500	△365,500
雑収益	63	13,013	△12,950
受取利息	63	57	6
雑収益		12,956	△12,956
經常費用	15,278,003	30,375,807	△15,097,804
事業費用	13,447,824	28,429,504	△14,981,680
雑費	3,741,870	3,870,382	△128,512
福利厚生費	24,980	66,177	△41,197
旅費交通費	107,439	168,276	△60,837
通信費	157,224	188,567	△31,343
諸消費	100,000	50,000	50,000
消耗品費	260,994	360,646	△99,652
支払手数料	477,081	424,113	52,968
リース料	168,684	181,212	△12,528
広告宣伝費	90,939	60,533	30,406
光熱水料	36,300	46,200	△9,900
会議費	478	7,002	△6,524
賃借料	669,468	669,468	
租税公課	498,265	450	497,815
委託費	201,744	1,045,981	△844,237
レンタル費	1,850,382	4,219,323	△2,368,941
レタリング費用	4,219,600	4,015,000	204,600
受託費	224,866	12,401,719	△12,176,853
貸倒損失	120,000	30,000	90,000
雑費用	497,510	624,455	△126,945
經常費用計	13,447,824	28,429,504	△14,981,680
評価損益等調整前当期正味財産増減額	1,830,179	1,946,303	△116,124
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	1,830,179	1,946,303	△116,124
經常外増減の部			
經常外収益	0	0	0
經常外費用	0	0	0
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
引当金等調整前一般正味財産増減額	1,830,179	1,946,303	△116,124
法人税、住民税及び事業税	237,500	183,500	54,000
当期一般正味財産増減額	1,592,679	1,762,803	△170,124
一般正味財産期首残高	4,418,074	2,655,271	1,762,803
一般正味財産期末残高	6,010,753	4,418,074	1,592,679
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0

## 監査報告書

一般社団法人日本ドローンコンソーシアム  
代表理事 野波 健蔵 殿

第6期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

### 1 監査の方法及びその内容


監事間の協議により監査方針を定めた上で各監事調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。


具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

### 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

令和4年4月27日

監事 木下研作 

監事 原田康則 

## 第3号議案 令和4年度 事業計画

### 1 総会

通常総会 2022年5月31日

会 場 学士会館（オンライン開催併用）

### 2 理事会

令和4年度1回目 2022年5月

令和4年度2回目 2022年7月

令和4年度3回目 2022年9月

令和4年度4回目 2022年11月

令和4年度5回目 2023年1月

令和4年度6回目 2023年3月

### 3 委員長連絡会議等

委員長連絡会議は、必要に応じて適宜実施する。

### 4 委員会活動

#### (1) 総務委員会（委員長：株式会社安藤・間 笠博義）

- ・ 運営全般：総務委員会・事務局連絡会議を1回/月の頻度で開催し、JDCの定常的な運営を事務局と連携して行う。
- ・ 規定類の整備：規定類全体の整備を進める。
- ・ 財務：会費の納入状況、収入・支出・収支差額について、定期的に把握し、令和4年度決算報告書の作成と令和5年度予算（案）の作成を行う。また、今後の財政基盤の安定化を目指すため、受託研究獲得の活動を継続して実施する。
- ・ 広報関係：メールニュースおよびNews&Topicsの発信を継続して実施する。新しいホームページの運営を開始し、定常的に情報更新を行う。第8回国際ドローン展を日本能率協会と共催するなど、外部団体との連携強化を進める。

#### (2) 事業企画委員会（委員長：株式会社WorldLink&Company 須田信也）

- ・ 第8回国際ドローン展において開催するJDCフォーラムの企画・運営を実施する。
- ・ 国際ドローン展以外に、オンラインでのイベントを企画する。

#### (3) 制度設計委員会（委員長：慶應義塾大学 武田圭史）

- ・ 引き続き政府の制度検討に参加し、業界団体としての意見表明等を行う。
- ・ 国際標準化活動国内委員会に参加し、標準化動向に関する情報収集および業界団体としての意見表明を行う。
- ・ 制度設計委員会を定期的に開催しコンソーシアム会員に対する政府の制度検討状況の情報提供および意見集約を行う。

**(4) 技能検定委員会（委員長：行政書士八角浩史事務所 八角浩史）**

- ・ 引き続きスクール事業部と連携し、令和4年度も継続する管理団体・講習団体制度における技能検定制度を推進する。
- ・ ライセンス制度については管理団体の在り方について継続検討し、講習団体の登録講習機関への登録を支援する。

**(5) 安全推進委員会（委員長：国立大学法人千葉大学 鈴木 智）**

- ・ 委員会を3回程度実施
- ・ 機体認証制度にかかる安全基準の分析と啓発活動の実施
- ・ ドローンのソフトウェア安全に関する勉強会の実施

**(6) 表彰委員会（委員長：金井度量衡株式会社 金井利郎）**

- ・ JDC 表彰の発表（総会にて、5月）
- ・ 表彰委員会の開催 3回実施（9月、10月、2月）
- ・ JDC 表彰授賞式、受賞者の講演（国際ドローン展にて、7月）
- ・ JDC 表彰候補者の推薦（自薦・他薦）お願いの告知（11月）
- ・ ヒアリング、審査（1月～3月）
- ・ 選定した表彰対象者の理事会審議（3月）

**(7) 国際連携委員会（委員長：国立大学法人千葉大学 劉 浩）**

- ・ 海外のドローン関係機関の動向把握、JDC の広報活動、特に大学での研究活動の推進を行う。
- ・ 大学でのドローン関連分野の研究推進のため研究集会を企画する。
- ・ 各種ドローン研究、技術開発関連情報を収集し、会員に配信する。

**(8) 産業促進委員会（委員長：株式会社 amuse oneself 富井隆春）**

各々の部会活動の活性化に向けて支援を行う。また、新たな利用分野への部会設置の要望を受けて、適宜、部会を設置する。

① 防災系部会（部会長：酒井直樹）

- ・ ぼうさいこくたい2022（主催：防災推進国民大会2021実行委員会（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）、会場場所：兵庫県神戸市）において、セッションを企画する。
- ・ 国際ドローン展/JDC フォーラムにおいて、「防災セッション」を企画する。
- ・ 災害時を想定したデモンストレーション等の企画を実施する。

② 農林水産系部会（部会長：井上吉雄）

- ・ 農林水産業のスマート化・省力化に向けたドローンの導入・普及を目的とする情報交換や環境整備を進めるため、勉強会、セミナー、デモ等を企画する。
- ・ 農林水産業分野等でのドローン利活用技術の研究開発や実用化、人材育成を促進するため、ドローンリモートセンシングに関する啓発的書籍やガイドブック等の刊行を他分野とも協力しつつ進める。

- ③ 構造物点検ドローン研究会（部会長：三浦浩）
  - ・ 点検スクール運営規定内容の見直し等による制度設計の充実やスクーリング等の効率的な運営により、橋梁点検パイロットや画像解析スペシャリストの他、指導員人材の育成を図る。
  - ・ 橋梁点検以外のインフラ点検技能の実証実験などによるソリューション開発も促進する。
  - ・ SkydioX2 の制御機能の実証と各種機能別点検適応範囲（運用範囲）の検討や、東三河 DRC 作業省力化 WG を活用したドローンによる点検方法の検討も行う。
  - ・
- ④ 物流系部会（部会長：野波健蔵）
  - ・ 物流分野へのドローン利活用推進を目指した実証実験・デモンストレーションを企画する。
  - ・ 国際ドローン展/JDC フォーラムにおいて、物流をテーマにしたセッションを企画する。
- ⑤ 調査・測量系部会（部会長：下村博之）
  - ・ 日本測量協会測量・地理空間情報イノベーション大会 2021 において Web 上でのポスター展示を行う。
  - ・ 国際ドローン展/JDC フォーラムにおいて調査・測量分野の講演の企画を行う。
  - ・ 日本測量協会、日本測量調査技術協会などの外部団体と連携したイベントを検討する。

## (9) 地域推進委員会（委員長：有限会社タイプエス 設楽 丘）

地域部会の設立と各地域部会における活動促進を支援する。

- ① 北海道地域部会（部会長：国立大学法人北海道大学 田邊龍彦）
  - ・ 道東（十勝地域）でのドローン講演会開催（11月初旬）：北海道の大規模農業地域である十勝（道東）での講演会により道北、道央、道南、道東の全地域での講演会が完了。
  - ・ 道央圏でドローンの操縦や運用に関する講習会を兼ねたイベント実施：スカイビュー社との共同開催
- ② 宮城地域部会（部会長：調整中）
  - ・ 部会長を確定させ、活動計画を策定する。
- ③ 福島地域部会（部会長：株式会社北斗測量 五十島文栄）
  - ・ 会津若松市総合防災訓練に参加し、災害時を想定したデモ飛行を行う予定。
- ④ 群馬地域部会（部会長：有限会社タイプエス 設楽丘）
  - ・ 滞在型ドローン練習会（第6回 JOP）を開催（2022年8月31日～9月2日）する。
- ⑤ 茨城地域部会（部会長：株式会社スカイスコープソリューションズ 酒井学雄）
  - ・ 茨城ドローン管理米の栽培を行う。4年目で、収量の改善を目指す。
- ⑥ 首都圏地域部会（部会長：株式会社ファンメディア 樋渡貴春）
  - ・ 中部・首都圏地域部会合同開催講演会、主にインフラ点検関連の講演会を秋頃に Web 開催予定。
- ⑦ 新潟地域部会（部会長：金井度量衡株式会社 金井利郎）
  - ・ 機体登録、免許制度等に関するセミナーへの協力
  - ・ 新潟県測量設計業協会講習会への協力
- ⑧ 関西地域部会（部会長：調整中）

- ・ 大阪万博を意識したドローン利活用について情報収集すると共に、大阪万博への寄与を意識した活動を実施する。
- ⑨ 中部地域部会（部会長：三信建材工業株式会社 石田敦則）
  - ・ 総会の開催(令和4年4月、メール審議)
  - ・ 5月例会:「豊川水管橋のドローンによる点検の公開検証」(令和4年5月9日～13日、於:豊川市三上緑地、三信建材工業(株) 開発室)
  - ・ 5月特別講演(東三河ドローン・リバー構想推進協議会 総会時での特別講演,令和4年5月23日、於:愛知県新城市)
  - ・ 7月例会:「会員の最新情報」(令和4年7月、於:名古屋市、豊橋市内、Web)
  - ・ 11月例会:「産業用ドローンを活用した現場見学会」(東三河ドローン・リバー構想協議会のWG(検討中)、令和4年11月、於:豊川市内・新城市内)
  - ・ 2月例会「あいちロボット産業クラスター 無人飛行ロボット活動WG 活動報告会」(令和5年2月、於:名古屋市内)
- ⑩ 中国・四国地域部会（部会長：国立大学法人徳島大学大学院 三輪昌史）
  - ・ 8月に徳島市で開催されるICUS2022へ参加する。また、10月に研究会（仮称）を開催する。
- ⑪ 九州地域部会（部会長：南栄工業株式会社 石神憲一）
  - ・ 新型コロナの感染状況に配慮して、9月後半に意見交換会を実施する。
- ⑫ 沖縄地域部会（部会長：株式会社システム・ビット 喜屋武義人）
  - ・ 2022年12月上旬に新型コロナの影響も加味しつつ、ドローン関係講演イベントを前年度と同様に開催予定。内容と場所については利便性を考慮し、会員企業とともに検討中。
  - ・ 操縦技術向上のためのドローン練習会やライセンス制度についての研修を開催する予定。

## 5 スクール事業部（事業部長：株式会社ディック ソリューション エンジニアリング 三浦浩）

- ・ 引き続き技能検定委員会と連携し、令和4年度も管理団体・講習団体制度における技能検定制度を推進する。
- ・ ライセンス制度については管理団体の在り方について継続検討し、講習団体の登録講習機関への登録を支援する。

## 第4号議案 令和4年度 予算計画 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

科目	予算	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1)会費収入	6,900,000	6,870,000	30,000	
法人会員	6,900,000	6,840,000	60,000	法人会員数:228
公共会員	0	30,000	△ 30,000	
協力会員	0	0	0	
招聘会員	0	0	0	
団体会員	0	0	0	
連携団体会員	0	0	0	
(2)事業収入	8,200,000	9,900,000	△ 1,700,000	
スクール事業部	6,200,000	8,200,000	△ 2,000,000	検定料、認定料
ドローン技能検定業務	6,000,000	8,000,000	△ 2,000,000	
開校関連業務	200,000	200,000	0	
資料等販売	0	0	0	
調査研究受託	2,000,000	700,000	1,300,000	みちびき実証、公募案件
JDCフォーラム	0	1,000,000	△ 1,000,000	第8回国際ドローン展と同時開催
(3)その他収入	100	100	0	
受取利息	100	100	0	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	15,100,100	16,770,100	△ 1,670,000	
2. 事業活動支出				
(1)事業活動支出	8,480,000	12,420,000	△ 3,940,000	
総務委員会	960,000	2,350,000	△ 1,390,000	受託研究研究運営費700,000円含む
制度設計委員会	20,000	20,000	0	
技能検定委員会	50,000	50,000	0	指導員講習会
安全推進委員会	50,000	50,000	0	
国際連携委員会	20,000	20,000	0	UVS参加は一時中断
表彰委員会	100,000	0	100,000	表彰状、縦、記念講演交通費
事業企画委員会	550,000	1,050,000	△ 500,000	JDCフォーラム運営費500,000含む
産業促進委員会	200,000	200,000	0	
地域推進委員会	830,000	880,000	△ 50,000	
スクール事業部	5,700,000	7,800,000	△ 2,100,000	
ドローン技能検定業務	4,500,000	6,000,000	△ 1,500,000	検定外注・認定書発行費
運営費	1,200,000	1,800,000	△ 600,000	
(2)管理費支出	6,574,000	6,160,000	414,000	
人件費	3,800,000	3,900,000	△ 100,000	雑給・福利厚生費・顧問委託料
会議費	200,000	15,000	185,000	総会会場費他
旅費交通費	170,000	170,000	0	事務局員交通費、理事会旅費
通信費	200,000	200,000	0	メールサーバ、電話、FAX
消耗品費	350,000	350,000	0	トナー、コピー用紙、事務局パソコン更新
修繕費	20,000	20,000	0	
減価償却費	0	0	0	
管理諸費	1,280,000	1,350,000	△ 70,000	
諸会費	100,000	50,000	50,000	
支払手数料	400,000	400,000	0	
リース料	60,000	180,000	△ 120,000	PC、複合機
広告宣伝費	0	0	0	
光熱水料費	50,000	50,000	0	
賃借料	670,000	670,000	0	事務局賃貸費用等
租税公課	554,000	155,000	399,000	法人税207800円、消費税346,200円
雑費	0	0	0	
事業活動支出計	15,054,000	18,580,000	△ 3,526,000	
事業活動収支差額	46,100	△ 1,809,900	1,856,000	
II 予備費支出				
前期繰越収支差額	2,608,174	4,418,074	△ 1,809,900	
次期繰越収支差額	2,654,274	2,608,174	46,100	

## 参考：地域推進委員会 内訳

部会名	予算	前年度予算額	増減	備考
地域推進委員会	830,000	880,000	△ 50,000	
北海道地域部会	100,000	100,000	0	
宮城地域部会	30,000	30,000	0	部会長調整中
福島地域部会	30,000	30,000	0	
新潟地域部会	50,000	50,000	0	
群馬地域部会	30,000	30,000	0	
茨城地域部会	30,000	30,000	0	
首都圏地域部会	30,000	30,000	0	
中部地域部会	100,000	120,000	△ 20,000	
大阪・関西地域部会	30,000	30,000	0	部会長調整中
中国・四国地域部会	100,000	100,000	0	
九州地域部会	100,000	100,000	0	
沖縄地域部会	150,000	150,000	0	
予備費	50,000	80,000	△ 30,000	新規設立部会費用等



第5号議案 令和4年度 役員候補(案)

理事	石田 敦則	三信建材工業株式会社
理事	伊東 明彦	一般社団法人もりや循環型農食健協議会
理事	岩田 拓也	国立研究開発法人産業技術総合研究所
理事	笠 博義	株式会社安藤・間
理事	金井 利郎	金井度量衡株式会社
理事	公文 誠 <sup>*1</sup>	国立大学法人熊本大学大学院
理事	酒井 直樹	国立研究開発法人防災科学技術研究所
理事	下村 博之	株式会社パスコ
理事	鈴木 智	国立大学法人千葉大学
理事	須田 信也	株式会社 WorldLink&Company
理事	田上 敏也	株式会社四門
理事	武田 圭史	慶応義塾大学
理事	戸澤 洋二	一般社団法人日本ドローン無線協会
理事	富井 隆春	株式会社 amuse oneself
理事	野波 健蔵	一般財団法人先端ロボティクス財団
理事	八角 浩史	行政書士八角浩史事務所
理事	三浦 浩	株式会社ディックソリューションエンジニアリング
理事	三輪 昌史	国立大学法人徳島大学大学院
理事	山下 敏明	日本電気株式会社
理事	劉 浩	国立大学法人千葉大学
監事	木下 研作	株式会社サイバー創研

※1：新役員

参考：顧問

	氏名	内容
顧問	和田 昭久	安全ガイドライン支援・制度設計支援

